

PAT-NO: JP02001191699A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001191699 A
TITLE: BAMBOO CHARCOAL POWDERED PAINT
PUBN-DATE: July 17, 2001

INVENTOR-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NAGAMORI, SHINICHIRO N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NAGAMORI SHINICHIRO N/A

APPL-NO: JP2000062678
APPL-DATE: January 14, 2000

INT-CL (IPC): B44D003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide bamboo charcoal powdered paint, with which a shade of India ink is beautiful and has depth and a natural pattern develops.

SOLUTION: This paint is prepared by mainly mixing bamboo charcoal powder with pigment and glue for powdered paint so as to realize oil and water paint.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-191699

(P2001-191699A)

(43) 公開日 平成13年7月17日 (2001.7.17)

(51) Int.Cl.

B 4 4 D 3/00

識別記号

F I

B 4 4 D 3/00

キーワード (参考)

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2000-62678 (P2000-62678)

(22) 出願日 平成12年1月14日 (2000.1.14)

(71) 出願人 500107658

永森 信一郎

東京都練馬区向山4丁目29-17

(72) 発明者 永森 信一郎

東京都練馬区向山4丁目29-17

(54) 【発明の名称】 竹炭粉末絵具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 墨の色が美しい深味があり表面に自然紋様が出来る竹炭粉末絵具の提供。

【解決手段】 竹炭粉末を主成分とし顔料と膠質を混ぜ粉末絵具用となすことで、油性と水性絵具となるようにした。

【特許請求の範囲】

【請求項】(1) 竹炭粉末に膠質となるアルブミンと顔料の適量を混ぜ黒系の粉末絵具とし使用時は水で練り水溶性絵具として使用出来る乾性油と練って油絵具として使用出来る竹炭粉末絵具

【発明の詳細な説明】

【0001】〔発明の属する技術分野〕 絵画美術工芸

【0002】〔従来の技術〕 従来の墨又は黒色用の絵具や塗料は単に黒色を出すのが目的であった

【0003】〔発明が解決しようとする課題〕 墨の色が美しい深味があり表面に自然紋様が出来るので絵画・工芸美術塗装分野に新しい感じの表面が可能と成り芸術性を高める竹炭粉末絵具

【0004】〔課題を解決するための手段〕 従来の墨は油煙を主成分として造られたが本発明は竹炭粉末を主成

分とし顔料と膠質を混ぜ粉末絵具用となすことで油性和水性絵具とも成り面に自然文様が出来る絵具と成る竹炭粉末

【0005】〔発明の実施の形態〕 日本画用岩絵具黒より色が良く延びもよいので使い安いし自然紋様が芸術性を高める

【0006】〔実施例〕 竹炭粉末絵具を水で練りうすめて日本画の岩絵具同様黒色に使用したが紙面にも下色の上にも乗りが良く描きあげた面は乾燥するに従がい自然の紋様が出来動と空気を感じる特質がある。

【0007】〔発明の効果〕 竹炭粉末絵具を水で練り水性絵具化すると今迄の得られなかった落ちついた黒色を得ることが出来他の絵具をまぜ中間色を自由に造る効果がある又面に自家紋様の発生で芸術性を高める効果がある